



「家族あつての自分」

タレント/エシカル・コーディネーター
原田さとみさん

プロフィール/はらだ・さとみ
JICA中部 なごや地球ひろば オフィシャル・サポーター
(財)地球環境財団・エシカル JAPAN 中部地域代表
(社)フェアトレードタウン・ジャパン 理事
フェアトレードタウンなごや推進委員会 世話人
世界と出会う絵本ひろば「Looppe (ループ)」主宰
コップなごや水基金 世話人 <http://cupnagoya.org>

子育てを喜び、人生を楽しむ。

「私にとって一番大事なものは、家族」。きっぱりとそう言い切るのは、多方面で活躍するタレントの原田さとみさん。忙しく活躍される中でも、家族とのコミュニケーションや絆を大切に育むために、お料理や家族旅行の時間を大切にされているとか。7月第4日曜日の今日は「親子の日」。原田さんに、子育てや家族と過ごす時間について語っていただきました。

完ぺきにできない自分を認めたら、育児が楽しいものに

11歳になる息子がいます。出産して5年間はタレント業を退き、子育てに集中していました。何事にもがんばりすぎる性格だけに、産後しばらくは思い通りに子育てできない自分に苛立ったり、落ち込んだりの連続でした。そんなとき救いとなったのが、母の存在。「悩みながらも必死で育児してるから、この子は今日一日分ちゃんと言っているよ」という何気ないひとことで、こんな未熟な親でも子どもは育ってくれているんだと気づき焦りが消え、肩の力がすっと抜けました。

親にとって子育てはわからないことだらけ。そんな不器用でも一生懸命に子どもを愛している親の姿を子どもは見えています。かっこつけたってしょうがない、子どもはすべてを受け入れ子どもを信じ、育児は「ゆったり、じっくり、ゆっくり」で行こう！そう思ったから、子育てが楽しくなりました。「お母さん」に専念した5年間は、今の私の財産です。今は息子が眠るまでの1時間ほど、布団の中で、他愛のないおしゃべりしています。こんな添い寝ができるのも、きつとあとわずかの間でしょうね。この幸せな親子の時間を大切にしたいです。「エシカル(倫理的な)おもしろい」をキーワードにした国際協力・社会貢献に取り組んでいます。が、基盤にあるのは家族。世界の平

和の源は、台所が原点かなと思っています。家族のためにおいしい料理を作ること、小さな幸せが生まれ、それが地域に広がり、世界をハッピーで満たしていく。つまり「ローカル」あつての「グローバル」というわけです。

自然体験や3世代旅行を通して、家族の絆を深める

自然体験や3世代旅行を通して、家族の絆を深める私たちは、家族でよく旅行をします。山や海へキャンプに行くのが大好きです。息子は、たくましく何でもできるお父さんにあこがれているので、テントの設営から食事の用意まで、すべて主人と息子が担当してくれまます。遊びを通してお父さんとのコミュニケーションを深め、「男」を学んでいますよ。爽やかな自然の中で、メンズふたりの頼もしい姿を見ながら過ごすとき、家族の絆をいつも以上に実感できます。

つい最近父の喜寿をお祝いするために、兄弟3家族を含めた総勢11名で伊良湖の温泉宿に出かけました。昼はサーフィンを趣味とする主人のサポートで、父が波乗りで初挑戦。波をかぶるなど悪戦苦闘しながらも、楽しんでいました。夜は子どもや孫たちに囲まれて、温泉宿で時間を忘れてゆっくと過ごすことができ、父も母もうれしそうでした。主人の両親も私の両親も旅が大好きなので、大家族で海外へも出かけます。息子は9ヶ月のころから、旅好きの家族とともにいろんな国を旅しています。小さい頃は、遊べるリゾー

トを中心に楽しみ、徐々に遺跡や歴史や異国の文化にふれる旅もできるような楽しみが増えていきました。「幼い頃に旅行に行っても覚えていない」なんて心配は要りません。子どもの感性は、どこへ行っても覚えたものの記憶は、どこへ行っても覚えたものの「記録」ではなく、旅での空気感や幸せ感など、心に響く感覚の「記憶」なのです。そんな感性を積み重ねてあげられたらいいと思います。

子どもとの旅行では、無理はしない、大人だけの行程よりも子どもに合わせた、ゆったりとしたスケジュールを選びますので、じっくりと旅ができ、思わぬ出会いや発見があります。来年は家族3人の年齢を合わせると100歳になりますから、記念の旅行を計画しています。

これから夏本番。皆さんも夏の家族旅行を通して、日常とは少し違った体験、感動を共有し親子の絆を深めてみてはいかがでしょうか。

大切に伸ばしたいのは子どもたちの生きる力

昨年は「JICA 中部なごや地球ひろば」のオフィシャル・サポーターとして、エチオピアとルワンダに渡航しました。アフリカの

実情を目の当たりにして子育ての考え方が一変しました。先進国私たちが親は余計なことをして子どもの成長を妨げているのではないかと感じ



ました。とにかくアフリカの子どもたちは、生きる力が強い。物質的には満たされていないが、知恵と工夫が養われ、心身ともにたくましく生きています。限られたものの中でやりくりする母親たちもまた、たくましく美しいです。便利で贅沢な暮らしの中で心が鈍感になりつつある日本の私たちこそ、アフリカから学ぶべきことはたくさんあると感じました。子どもは生まれた時は可能性の宝庫です。親の余計な手出しで近道をさせてしまい、開花すべき能力を閉ざしてしまわないように、子どもを信じてのびのび活かしてあげたいもの。そして世界を見て心で感じて行動する人になってほしいと願います。世界中にはいろんな環境の親子がいて、紛争や貧困と一緒に暮らせない親子もいます。でも親子の絆は世界中どこでも一緒。親は子を愛し、子は親が大好きです。そんな心の痛みを感じ分かち合い、助けに行ける国際人に育てることが、私が親として子にすべきことかなと今感じています。

万葉の歌心を和菓子にも。心に響くやさしいおいしさ



おときき山 16個入/1,208円

音聞山は、万葉集にも登場する景勝地。遥か昔、遠くに響く波の音が聞こえたといわれています。そんな情感をモチーフに、ふっくらと仕上げた「おときき山」は、どこか懐かしさを感じる焼き菓子です。ほんのり甘い白あんと言聞山の柔らかな山肌を思わせるコクのある皮がほどよく調和して、お口いっぱいにおいしさが広がります。

御菓子所 創業370年
両口屋是清

株式会社 両口屋是清 【本社】名古屋市中区丸の内三丁目14-23
TEL 052-052062 (受付時間 8:30~17:00)
<http://www.ryoguchiya-korekiyo.co.jp>